

アンゲリア



「アンゲリア」はギリシャ語で「ニュース・伝言・メッセージ」という意味です。



教養教育推進センター長 福士 秀人

自立した人間としての学生皆さんへの期待

豊かな教養と確かな専門性をそなえた21世紀型市民としての高度専門職業人が岐阜大学で学びつつ皆さんに期待する人間像です。

知識や技能だけでは人間として十分とはいえません。友人とのコミュニケーションやチームワーク、独りよがりにならないリーダーシップ、マスコミなどに左右されない確かなもの見方や自分の意見をもてることなどなど、毎日をどのように過ごすかで卒業時の皆さんの実力は大きく変わっているでしょう。

日々の学習も受け身ではなく、積極的に教員に働きかけてください。すべてが正しい事などありません。先人たちが築いた学問は大きく確かなもののように見えます。それであっても未知の部分はたくさんあります。それまで確かだと思われた事が、意外な発見から覆された事もたくさんあります。このような発見は若いひとたちによってなされました。なにもものにとらわれず、自分の考えを他の人たちに伝えられるようになってください。学問にとどまらずスポーツでも芸術でも同じ事がいえます。

日々のなにげない積み重ねが試合の時やそれぞれの作品に自然とでてくるでしょう。

大学では黙っていても何もできません。求める事によってのみ何かを得る事ができます。行動してください。一人でであっても仲間であっても。自分の意志で動いてください。壁にぶつかる事もあるでしょう。無力感を感じる事もあるでしょう。そんなときこそ大学の教員や職員の人たちのところにきてください。いっしょに問題を解決し、歩んでいけるはずですよ。

教養教育推進センターにはすべての学部や研究センターの教員が参加し、教育にあたっています。学部の枠にとらわれず多くの教員に働きかけてください。自分の学部ではない友人もたくさんつくってください。要望もどんどんよせてください。世界が動いているようにセンターも明日に向かって動いています。動かすのは学生の皆さんです。みんなで学び、きわめましょう。それが貢献につながります。

AIMS Tips

No.3

“Tips”とは、コンピュータやソフトウェアなどを利用する上で役立つ「豆知識」や「小技」のことです。今後数回に亘って連載していきます。

「ポータル」でできること。

ポータルって？

ポータル(portal)とは、入り口や玄関という意味です。地方や建物など、まず最初に訪れる場所で、その中の様々な場所をポータルから選んで訪れるという意味があります。AIMS-Gifuでは、ログインした直後に、ポータルにアクセスします。

AIMS-Gifuのポータルの役割

岐阜大学には公式のWebサイト(<http://www.gifu-u.ac.jp/>)がありますが、こちらは学内および学外の利用者に向けての情報が用意されています。そのなかから、私たち個人が個別に必要とする情報を探するのは容易ではありません。また、個人向けの情報を不特定多数の利用者に閲覧できるようにしてしまうことは好ましくありません。

そこで、AIMS-Gifuにログインし、このポータルで個人ユーザ向けの情報を提示することで、ユーザ個人個人にあわせた適確な情報を、安全に取得することができるようになります。また、自分とは関係のない情報を見せられることも少なくなります。



ポータルで取得できる内容

AIMS-Gifuにログインすると、コースやコミュニティのタブの他、利用者が必要とされる重要な連絡事項や教育情報支援システムなど、他のサービスへのリンクが提供されます。主に画面下(「ようこそ、〇〇さん」から下)に、四角い枠に囲まれて表示される個々のコンテンツを、モジュールと呼びます。モジュールには、マイ連絡事項、各部局からの連絡事項、サービス、メモ帳、Google検索、電卓、New York Times への記事、英英辞書、岐阜大学公式WEBページからのお知らせ…などなどがあります。

モジュールの変更

ポータルでは、現在表示されているモジュールを選択して非表示にしたり、逆に現在表示されていないモジュールを選択して表示させたりすることができます。これにより、モジュールの整理をすることができるようになります。

現在表示されているモジュールを一時的にたたんでおきたい場合は、図の ボタンをクリックします。タイトルだけがポータル上に残り、内容はたたまれます。たたまれている内容を表示させたい場合は ボタンをクリックします。また、モジュールそのものをポータルから削除したい場合は、 ボタンをクリックします。モジュールを削除すると、タイトルバーも含めてポータルからは削除され、後述のコンテンツの変更で表示設定するまでは表示されません。また、 ボタンが表示されていないものは削除できません。 ボタンは、そのモジュールになんらかの設定が出来ることを意味しています。設定はモジュールにより異なります。

表示されていないモジュールの表示・非表示を切り替えるには、右上の[コンテンツの変更]ボタンをクリックして、右図のように「モジュールの選択」から設定します。

設定を終えたら、下部の送信ボタンをクリックします。

レイアウトの変更

モジュールの表示場所を変えて、使用頻度の高いものを上部に配置したり、モジュールの左右の位置を変更したりすることが可能です。

ポータル画面右上部の[レイアウトの変更]ボタンをクリックすると、右図のように「レイアウトの変更:ポータル」という画面に変わります。このなかの「ページレイアウトのパーソナライズ」で、列1(左側)または列2(右側)のなかのモジュールの項目を選択し、 ボタンで上部へ、 ボタンで下部へ移動できます。また、 ボタンまたは ボタンで、列1(左側)または列2(右側)への移動が可能です。 ボタンはモジュールの削除となります。

ポータル画面の色合いも、いくつかのテーマから選べます。テーマのパーソナライズから、好みの色合いを選んでください。設定を終えたら、下部の送信ボタンをクリックします。

総合情報メディアセンター 松原 正也



編集後記

新学期がスタートして2ヶ月あまりが経ち、キャンパスも落ち着きが感じられるようになりました。教養教育推進センターから教養教育ニュースレター「アンゲリア」第15号をお届けします。アンゲリアは年に3回発行し、これからも学生皆さんに伝えたいメッセージや有用な情報を掲載していきます。本号は今年度第1号として、センター長からのメッセージとAIMS-Tips(No.3)をお届けします。

教養教育推進センターでは、全学共通教育のカリキュラム・時間割の検討、授業評価アンケートの実施やニュースレター・広報誌の発行などを担当しています。この4月に教育に並々ならぬ熱意・決意をもった福士秀人先生をセンター長として迎え、毎日のように全学共通教育のあり方を精査しているところです。学生皆さんから見て改善すべき点多々あると思います。是非要望などを聞かせてください。

「継続は力なり」とよくいわれます。何か目標を立てて続けてみませんか。週に1冊読書をする、英語を毎日30分聴く、あるいは腕立て伏せを毎日50回するなど、何でも良いと思います。決して無理のない目標を掲げ継続することできっと成果が見えてくることでしょう。センターでは、継続的に全学共通教育の改善に向けて努力していきます。それには、教職員のみならず学生皆さんの協力も必要です。

編集責任・教養教育推進センター 副センター長 竹内 豊英